

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月30日

計画の名称	交通拠点等へのアクセス向上を図り、地域間の交流拡大を支援する道づくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	長崎市, 大村市, 諫早市												
計画の目標	長崎県は平坦地に乏しく、いたるところに山岳、丘陵が起伏し、複雑な海岸線に囲まれた地形であることから、地域間の交通が容易ではないという特徴がある。そのため、九州新幹線西九州ルートの開業に合わせて、周辺地域における利便性向上が期待されていることから、交通拠点へのアクセス向上を図り、地域間の交流拡大の支援を図ることを目標とするものである。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	12,406	A	12,406	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R2末	R4末
1	長崎駅等を経由し観光地を訪れる観光客数を672.4万人(H30)から710.0万人(R4)に増加 長崎駅等を経由し観光地を訪れる観光客数【長崎駅】	672万人	万人	710万人
2	大村市中心部(市役所周辺)から新大村駅へのアクセス時間を13分(H30)から10分(R4)に短縮 大村市中心部(市役所周辺)から新大村駅へのアクセス時間【新大村駅】	13分	分	10分
3	諫早駅改札口からバス乗り場までのアクセス時間を4分(H30)から2分(R4)に短縮 諫早駅改札口からバス乗り場までのアクセス時間【諫早駅】	4分	分	2分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H30	H31	R02	R03	R04						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	長崎市	直接	長崎市	区画	改築	長崎駅周辺地区((都)長崎駅西通り線)	L=1.79km、A=19.2ha	長崎市						7,542		-			
	A01-002	街路	一般	大村市	直接	大村市	区画	改築	新大村駅周辺地区((都)坂口植松町線 外)	L=0.67km、A=9.5ha	大村市						2,721		-			
	A01-003	街路	一般	諫早市	直接	諫早市	-	改築	諫早駅東地区((都)永昌東諫早駅線 外)	L=0.26km、A=1.9ha	諫早市						2,143		-			
												小計						12,406				
												合計						12,406				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業実施主体において評価を実施し、県が取りまとめを行った。	令和4年度末時点の最終実績確定後
	公表の方法
	長崎県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交通拠点のアクセス時間を目標値通りに短縮できており、効果発現ができている。 地域間の交流拡大については、新型コロナウイルスによる影響で、効果発現状況の確認が十分にできなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことから、今後の観光客数は回復、増加していくと考えられる。今後も、地域間の交流拡大にむけて整備を進めていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	710万人	新型コロナウイルス感染拡大により、人の往来の制限があったため。
	最終実績値	405万人	
2	最終目標値	10分	
	最終実績値	10分	
3	最終目標値	2分	
	最終実績値	2分	